

取材のお願い

第17回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館展示 エレメントの軌跡——建築の生産の連鎖をデザインする キュレーターは門脇耕三氏に決定

国際交流基金は、2020年5月23日（土）から11月29日（日）にかけて、イタリア・ヴェネチアにおいて開催される「第17回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展」の日本館展示を主催します。このたび、展覧会概要が決定しましたので、お知らせいたします。つきましては、貴媒体でのご紹介やご取材を何卒よろしくお願い申し上げます。

記

■第17回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館 概要

タイトル： エレメントの軌跡——建築の生産の連鎖をデザインする
主催／コミッショナー： 国際交流基金
キュレーター： 門脇 耕三（明治大学准教授・アソシエイツパートナー）
参加建築家： 長坂 常（スキーマ建築計画代表）
岩瀬 諒子（岩瀬諒子設計事務所代表）
木内 俊克（木内建築計画事務所代表）
砂山 太一（京都市立芸術大学専任講師・sunayama studio 代表）
元木 大輔（DDAA 代表）
参加デザイナー： 長嶋 りかこ（village®代表）
リサーチャー： 青柳 憲昌（立命館大学准教授）
樋渡 彩（近畿大学講師）
エディター： 飯尾 次郎（スペルプラーツ代表）
アドバイザー： 太田 佳代子（CCA「c/o Tokyo」キュレーター）

（敬称略）

■第17回 ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 全体概要

会期： 2020年5月23日（土）～11月29日（日）
会場： ジャルディーニ地区（Giardini di Castello）、アルセナーレ地区（Arsenale）など
総合ディレクター： Hashim Sarkis
総合テーマ： 未定
公式ウェブサイト： <http://www.labiennale.org>

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044
E-mail: press@jpf.go.jp

■ 門脇耕三（かどわき・こうぞう）

建築家、建築学者。明治大学准教授、アソシエイツパートナー。博士（工学）。1977年神奈川県生まれ。2001年東京都立大学大学院修士課程修了。東京都立大学助手、首都大学東京助教などを経て現職。2012年に建築設計事務所アソシエイツを設立。現在、明治大学出版会編集委員長、東京藝術大学・日本女子大学非常勤講師を兼務。建築構法を専門としながら、建築批評や建築設計などさまざまな活動を展開。建築の物的なエレメントに根ざした独自の建築理論も展開している。



© SHINTO TAKESHI

■ キュレーター・ステートメント

われわれが展示するのは、日本ではごくあたり前の木造住宅である。人口構造が世界に先駆けて大きく変化しているこの国では、耐用年数を過ぎて解体を待つばかりの住宅が、おびただしい数生まれている。そんな住宅のうちの一棟を、ヴェネチアまで移動して展示する。ただしヴェネチアに運ばれた住宅は、もとの姿をとどめているわけではない。輸送コンテナに収めるべく、いったん解体された住宅は、ある部分は展示台へ、ある部分はベンチへ、ある部分は物見台へといった具合に、それ自身が展示のための設えとして読み替えられる。バラバラになった住宅は、エレメントごとに現地でふたたび組み立てられて、それぞれが新しい生を得ることになるというわけだ。

とはいえ、解体と移動と再組み立ての過程で、この住宅からは多くの部材が失われる。そこで建築家は、日本から職人を引き連れてヴェネチアへと赴き、生じた欠損を持参した新しい材料や現地の材料で補いながら、住宅の再生と再構築の作業にあたる。その状況は SNS を介してチームで共有され、作業は次なる建築家と職人へと引き継がれる。こうした協働はあたかもクラウド上のドキュメントの共同編集作業のようだが、そこで「完成」という概念はどこまでも希薄であり、だから制作は会期を通じて継続される。すなわち、ここで展示されるのは、古い材料と新しい材料が混在し、幾人もの建築家や職人の創造性が重層したキメラ的な混成物であり、またその生成のプロセスそのものである。

われわれの日常が、グローバルな市場の力学にもとづくモノや人の膨大な移動、著しく発達したネット上を行き交う情報などによって日々刻々と再構成されている現在、目の前のあらゆるものの姿は、うたかたのものとして不確かになりつつある。本展では、こうした現実においてこそ成り立つ新しい〈建築〉の姿と、その創造にまつわるポジティブなビジョンを示す。

門脇耕三

■ ヴェネチア・ビエンナーレ（Biennale di Venezia）について

ヴェネチア・ビエンナーレは、イタリア・ヴェネチア市の市内各所を会場とする国際的なフェスティバルです。1895年に最初の美術展が開かれて以来、120年以上の歴史を刻んでいます。近年、世界各地で美術を中心に、国際展が開催されていますが、ヴェネチア・ビエンナーレはそれらのモデル・ケースとなった最も著名な存在です。「ビエンナーレ」とは「2年に一度」を意味するイタリア語で、同様な国際展の多くが「ビエンナーレ」や「トリエンナーレ」（3年に一度）と命名されているのは、ヴェネチア・ビエンナーレに範をとったものとされています。ヴェネチアには現在、美術展、建築展、音楽祭、映画祭、演劇祭の各部門がありますが、建築展は、現代の建築の動向を俯瞰できる場として、また国別参加方式を採る数少ない国際建築展として世界の注目を集めています。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

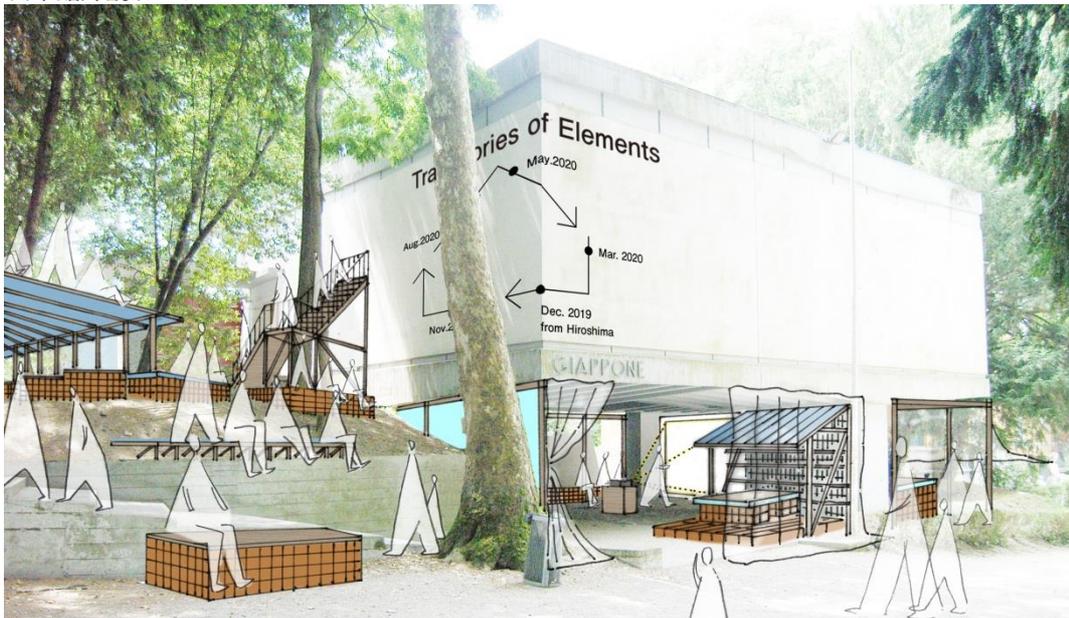
■ 広報用画像

画像を希望される方は、広報担当の熊倉、原田（press@jpf.go.jp）までご連絡ください。

【ご使用時の注意点とお願い】

- ・画像のご使用は本展の広報目的のみに限ります。
- ・画像の掲載に際しては、作家名、作品名、作品情報及び所定のクレジットを必ず記載してください。
- ・画像の改変（トリミング、部分使用、文字のせ含む）、画像の二次使用はご遠慮ください。
- ・事実関係確認のため、出版前に記事校正を広報担当者までお送りください。
- ・掲載誌又は、掲載記事を広報担当者までお送りください。

日本館外観イメージ



日本館館内イメージ



以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp